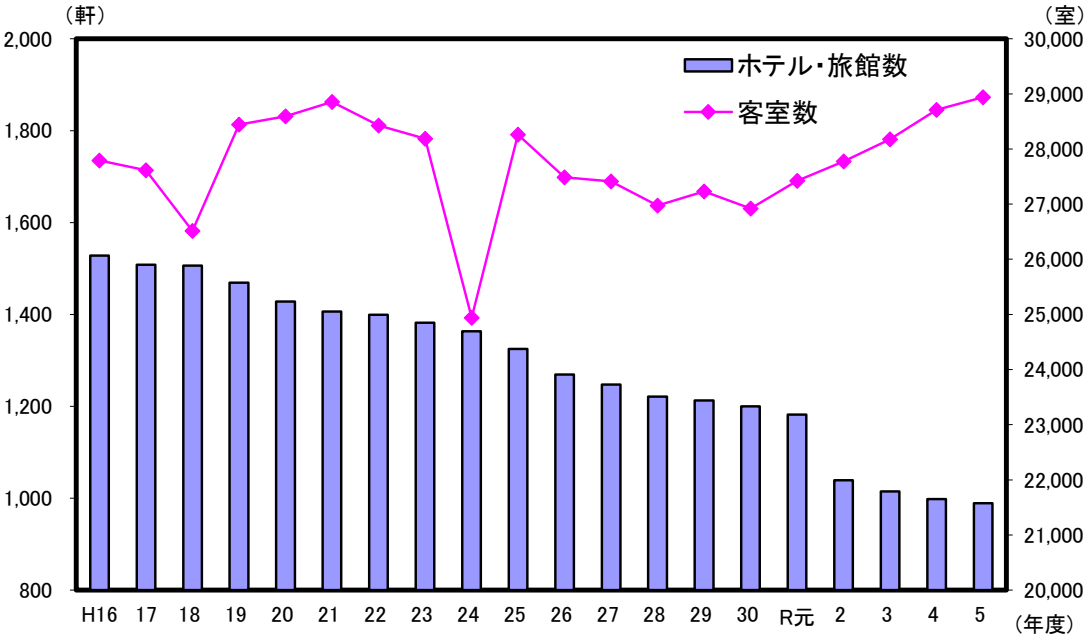


熊本市のホテル・旅館数と客室数の推移



解 説

【概要】

熊本市のホテル・旅館数と客室数の推移をみると、ホテル・旅館数は平成16年度から減少を続けており、令和5年度には989軒まで減少している。特に令和元年度から令和2年度にかけて大きく減少した。

一方、客室数は平成24年度に一度大きく減少した後回復し、その後平成30年度まで減少傾向であったが、令和元年度から増加に転じ、令和5年度には、28,940室まで増加している。

○ホテル

客室数10室以上であり、各室の床面積は9㎡以上、寝具は洋式で、出入口及び窓は施錠可能で、適当な数の洋式浴室又はシャワー室を有すること。

○旅館

客室5室以上で、和式の構造設備による各室の床面積が7㎡以上であること。

○一万人当たりホテル・旅館数

ホテル・旅館数÷推計人口×10,000

○温泉

地中から湧出する温水・鉱水及び水蒸気その他のガスで、摂氏25度以上の温度又は別に定める物質（19物質）のいずれか一つの基準量を満たすもの。

○温泉地数

宿泊施設のある温泉地の数を計上した。

○温泉湧出量

宿泊施設のある温泉地の湧出量

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
*1、*2「衛生行政報告例」 厚生労働省 *3、*4「温泉利用状況」 環境省	令和5年度末 令和5年3月末	毎年 毎年